



北緑丘小学校学校だより

ふたば

令和4年度(2022年度)第2号
豊中市立北緑丘小学校
令和4年(2022年)5月12日

心豊かに、
たくましく

- 自分で考え、判断する力を持つ子ども
- 自分で目標に向かって、努力を続ける子ども
- ちがいを認め合い、相手の立場を尊重し、仲間とつながりあえる子ども

青葉がまぶしい季節となりました。窓からウグイスの鳴き声が聞こえてきます。新しい一年が始まって1か月。子どもたち毎朝元気に登校してくれていることが何よりの喜びです。

水泳の授業が再開されます

今まで2年間、新型コロナウイルスの対応のため水泳の授業は中止してきました。今年度は市教育委員会から「新型コロナウイルス感染症対策等を講じたうえで実施」との通知があり、市内小中学校すべてにおいて水泳の授業が再開されることとなりました。

この通知を受けて、北緑丘小学校でも以下の点に配慮し、水泳の授業をおこないます。

- ・更衣は校舎内の教室を使い、密にならないようにします。
- ・プール内が密になることを避けるために、今年度については学年ごとに水泳授業を実施します。(指導については担任、支援担任、担任外教員、管理職等、4人以上の教職員が担当し、子どもたちの安全確認をおこないます)
- ・水泳授業時間は、例年より少ない計8時間程度の実施となります。
- ・子どもたちの実態に合わせ、従来の目標にとらわれず、授業内容を柔軟にしておこないます。
- ・マスクの着用は水泳前のシャワーの直前まで、水泳後のシャワー直後とします。
- ・シャワーの際は、1回に浴びる人数を決め、間隔を開けるようにします。
- ・プールサイド及びプール内においては、一定の間隔を保つとともに、動線を一方通行とします。
(人数や体格が異なるので、シャワーの人数やプール内の動線については学年によって変わります)
- ・教職員は水泳用のマスクをつけて指導をします。

なお、水泳の授業に不安のある場合は、遠慮なく見学いただきたいと思います。その際は事前に学校までご連絡ください。見学者についてもマスク着用の上、間隔を開けて見学できるように配慮します。

ゴーグル、ラッシュガードの着用については、保護者の申し出が必要でしたが、今年度から自由に着用できるようになりました。ただし、安全面を考慮してゴーグルについてはガラス製のものは不可。ラッシュガードはフード、チャックのないもので、華美なものはお避け下さい。

いじめについて

いじめとは「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」と定義されています。近年はSNS等インターネット上の事象も問題になってきています。

今までは、「いじめがない」ことがよい学校とされてきました。しかし、この見解については変わってきています。私は9日の朝会で「誰でもいじめの加害者や被害者になることがある。友だちから嫌な思いをしていたり、その様子を見ていたりしたらすぐに相談してほしい。」という話をしました。いじめはいつ、どこで起こってもおかしくないのです。

本校ではいじめの対応について学校いじめ防止基本方針を北緑丘小学校のホームページに掲載しています。

いじめについては早期発見、早期対応が重要になってきます。保護者の皆様におかれましても、お子さまのことで気になることがありましたら遠慮なく学校へご連絡いただきたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

SSW(スクールソーシャルワーカー)について

今年度より、月に二回スクールソーシャルワーカーの伊達麗加先生が来てくれています。

SSWとは子どもの問題に対し、保護者や教員と協力しながら問題の解決を図る福祉の専門職です。心理面から問題解決のサポートに携わってくださるスクールカウンセラーとは異なり、「こどもを取り巻く環境の問題への働きかけ」や「関係機関との連携・調整」から問題事象のサポートに携わってくださいます。

私が以前勤務していた学校でも、いじめ、不登校、家庭内暴力などの問題について、ご家庭から相談を受け、対処されていました。何より子どもの利益を第一に考え、秘密保持をしながら問題解決に対応されます。このような専門職へのご相談をお考えのご家庭は学校までご連絡ください。

※状況に応じてスクールカウンセラーにもご相談いただけます。